



自好協
主学力

松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより No.11
令和3年2月24日 発行

「雨ニモマケズ」

校長 竹ノ山 誠忠 しげただ



時が経つのは本当に早いもので、三学期がスタートしてあっという間に二か月が過ぎようとしています。本年度も残すところあと一か月余りとなり、三年生はあと二週間程でいよいよ公立高校の入試を迎え、その一週間先は卒業式となります。一・二年生も現学年を終了して、次学年へと向かっていくこととなります。コロナ禍の一年でしたが、一人ひとりがそれぞれの思い出を得ることができた一年間であったことを願います。

ところで、最近「雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けず…」と女優の有村架純さんが朗読しているコマーシャルを見かけました。宮沢賢治の詩(裏面)で、どんな逆境や自然の厳しさにも決して屈することなく、ただひたむきに、力強く、一步一步未来へ進んでいきたいという想いが込められたこの詩の世界が、企業が伝えたいメッセージと重なっているということで作られたそうです。

この詩は、斉藤宗次郎という方がモデルになっていると言われています。宗次郎は、岩手県の花巻市に住んでいてキリスト教の信徒ですが、当時信徒は迫害を受けていました。宗次郎も石を投げられ、親にも勘当され、仕事も辞めさせられてしまいました。嫌がらせで何度も窓ガラスを割られ、娘は迫害がエスカレートして死んでしまいます。それでも宗次郎はくじけることなく神に祈り続け、子どもに会うとアメ玉をやり、仕事の合間に病気の人を見舞い励まし、雨の日も風の日も、雪の日も休むことなく町の人たちのために祈り働き続けたそうです。「でくのぼう(役に立たない人)」と言われながらも、最後まで人々のために尽くしました。宗次郎が引越すことになったとき、駅には迫害していたはずの大勢の人が見送りに来ていました。そういう宗次郎の姿を見ていた宮沢賢治が、「こういう人になりたかった」という思いを込めてこの詩を書いたそうです。

「自分のことだけを考えるのではなく人を思いやって生きていく」、「目標や理想、夢に向かってひたむきに努力して歩いていく」。もうすぐ春を迎え次のステージに立とうとしている今、将来の生き方を考え志(こころざし)を立てるこの時機に、心にとめてもらいたい詩です。

教科オリンピック表彰者

教科オリンピックは、誰でも取り組みやすい基礎的な基本的な内容を出題し実施することにより、「やればできる」という達成感・充実感を得られ、今後の学習への意欲を喚起させる目的で実施しました。

各教科の満点(100点)表彰者(敬称略)

理科

1年 大城のん 大平美音 喜島奏楽 榮龍斗 榮凜子 重原希音 鶴川夏琉 中島志のん 仁科理子 早川麻里 請島心愛 加藤秋奈 川口航輝 平智慶 瀧陽捺 徳永結海 久原理瑚 平田香夏 松崎ひなた 吉田海音
2年 祝ひかり 祝悠也 岡野美七海 実島世斉 長蒼大 徳重海音 永喜海迅 山本周汰 祝きらら 斉藤憲吾 徳琉悝 信島蕾夢 濱畑宥志 益山呼子 村田日葵
3年 実島司宝 瀧成仁 徳原蓮 信島拓志 関佳世 内田穂乃香 鶴川夏彩 鳥入夏樹 永井陽和 藤川美歩 渡辺朝陽

英語

1年 新田妃香 大城のん 大平美音 榮凜子 重原希音 中島志のん 請島心愛 数原悠 加藤秋奈 瀧陽捺 徳永結海 西田來未 松崎ひなた
2年 有川太進 祝ひかり 祝悠也 岡野美七海 長蒼大 実島世斉 徳重海音 徳永朱音 永喜海迅 濱田徳光 山本周汰 祝きらら 興正堂 斉藤憲吾 高田幸之介 益山呼子 村田日葵 森翔太 山口千陽
3年 太田杏渚 徳田聖功 徳原蓮 信島拓志 久野颯斗 山本獅土 内田穂乃香 関佳世 鳥入夏樹 西田徠夏 渡辺朝陽

数学

1年 新田妃香 大平美音 榮凜子 重原希音 鶴川夏琉 徳永結海 吉田海音
2年 祝悠也 山本周汰
3年 徳田聖功 徳原蓮 信島拓 久野颯斗 内田穂乃香 関佳世 鳥入夏樹 渡辺朝陽

右の写真は、3年間3教科とも満点(100点)を取った鳥入夏樹君



学校職員による読み聞かせ

学校職員が分担をして朝の読み聞かせを行いました。生徒も静かに真剣に聞き入っていました。



第3学年 学年PTA

2月18日(木)3年生の学年PTAが開催されました。3学期の学習や生活の様子、春休みの生活の心得についての説明や今後の進路指導についての説明を行いました。

また、ネットトラブルについても注意喚起を行いました。たくさんのご参加ありがとうございました。



卒業式へ向けて 3年生の合唱練習開始



令和3年度入学生へ

伝えたいこと

- ・体育大会や文化祭はすごく楽しい。
- ・テストは少ないかわりにテスト範囲は広い。
- ・教科書が重く5教科あるときは地獄。
- ・生徒会役員は投票で決まる。
- ・校則が厳しくなる。廊下に座るのはNG。
- ・言葉づかいをちゃんとしないとイケない。

3月行事予定

- 4日(木) 1・2年授業参観⑤・学年PTA
- 9日、10日 公立高校入試
- 15日(月) 3年生山水会入会式
- 16日(火) 第73回卒業式
- 25日(木) 修了式 離任式

令和3年4月6日午前中始業式、午後入学式の予定です。

「雨ニモマケズ」

雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けず
丈夫な体を持ち
欲はなく決して怒らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを自分を勘定に入れず
よく見聞きし 分かり そして忘れず
野原の林の下の蔭の
小さな萱（かや）ぶきの小屋にいて
東に病気の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行って怖がらなくてもいいと言い
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろと言い
日照りのときは涙を流し
寒さの夏はおろおろ歩き
皆にデクノボーと呼ばれ
ほめられもせず 苦にもされず
そういうものに私はなりたい